

「シックハウス症候群」について3回にわたり、特集します。

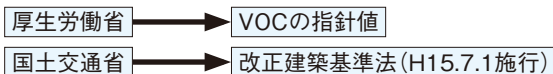
1. シックハウス症候群とは？

近年、気密性の高い建物が多くなり、新築やリフォーム直後の住宅・学校・事務所・病院等の建物で、建築材料・内装材などから発散した化学物質が原因で、室内汚染が生じ「めまい、吐き気、頭痛」などの症状を引き起こし、現在大きな問題となっています。

このような症状を「シックハウス症候群」又、そのような症状を引き起こす建物を「シックハウス」と呼んでいます。

2. 関連法規と指針について

シックハウス関連



化学物質に関する法律



- ・ 1997.6 VOCの室内環境濃度に関する規制対象物質：ホルムアルデヒドの指針値が設定される。
- ・ 1999.7 PRTR法が制定される。
- ・ 2000.7 VOCの室内環境濃度に関する規制対象物質が設定される。(8物質)
- ・ 2001.7 VOCの室内環境濃度に関する規制対象物質が追加される。(合計11物質)
- ・ 2002.2 VOCの室内環境濃度に関する規制対象物質が追加される。(合計13物質)
- ・ 2003.7 改正建築基準法が施行される。(シックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げるため、建築物に使用する建材が規制され、また換気設備の設置が義務づけられた)

次号は、VOC、MSDS、改正建築基準法について説明します。